

1 進行状況報告、評価基準について

(1) 事業担当課進行状況報告方法及び評価基準表

項目	記載内容		
実績・実施内容	目標値に対する当該年度の実績値又は速報値（実績値が出ていない場合は、把握予定の時期）		
評価	当該年度の実績値に対する評価		
	評価基準		
	数値目標がある場合	数値目標がない場合	
	達成率100%超	目標を超える実績が得られた場合	4
	達成率80%以上100%以下	目標を達成した場合 目標達成と同等と考えられる実績が得られた場合	3
	達成率50%以上80%未満	概ね計画どおり事業が進展したが、目標を達成できなかった場合	2
	達成率10%以上50%未満	あまり事業が進展せず、目標を達成できなかった場合	1
	達成率10%未満	目標値を著しく下回った場合 計画上事業を実施する予定であったが、実施できなかった場合	0
その他	方針を変更又は廃止した場合 未実施又は実績等がでておらず評価できない場合	—	
評価の説明や自己評価	実績・実施内容に対する評価の説明や取組に対する自己評価を記載 事業実施上の課題があれば、その対処方法を記載		
次年度の予定	当該年度の事業計画を記載		

(2) 個別施策の報告例について

(重点施策)

目 標							
No.	取組内容・指標 〔所管課〕	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
92	日常生活における環境への配慮の取組の促進・コツコツプランの小中学生家庭の参加世帯の割合 〔環境政策課〕	目標値	40%	41%	42%	43%	44%
		実績	40%				

評 価	
29年度評価	3
評価の説明	〇〇〇をすることで、多くの小中学生家庭に参加を呼びかけることができ、目標を達成することができた。各学校で参加世帯の割合にバラつきがあるため、参加率の低い学校に〇〇をして、参加世帯の割合の増加を目指す。

① 環境に配慮したくらしの普及

No.	取組内容 〔所管課〕	29年度計画	29年度実績	30年度計画	評価
93	電気自動車等に関する普及促進の実施	〇〇〇〇をして、市内の電気自動車の普及促進を図る。	〇〇〇〇を〇月に実施し、市内の電気自動車の普及促進を図った。	〇〇〇〇をして、市内の電気自動車の普及促進を図る。	〈評価〉3 〈説明〉計画どおり〇〇〇〇を実施することができたため、目標達成とした。

3 計画全体の評価例について

施策分野	評価
1 安全な生活環境を確保します (生活環境分野)	2. 8
2 自然環境を保全・再生します (自然環境分野)	3. 2
3 快適な都市環境を保全・創造します (都市環境分野)	2. 3
4 地球環境保全へ貢献します (地球環境分野)	3. 3
5 市民・事業者等による環境保全活動を促進します (環境保全活動等)	1. 5

総合評価

29年度評価	2. 6 (施策の分野1～5の平均値)
評価の説明	<p>施策分野2、4については、目標を超える実績が得られており、引き続き施策の推進を図っていく。施策分野4の施策〇〇〇は目標値が実績値を大きく上回る結果となり、次年度以降の目標値を〇〇に変更していく。</p> <p>施策分野1、3については、概ね計画通り実施できている施策が多かったが、一部の施策で目標を達成できなかった。目標が達成できなかった〇〇〇は、〇〇を見直し、引き続き目標値の達成を目指す。施策分野5については、ほとんどの施策が目標を達成できなかった。施策〇〇は実施方法を見直し、〇〇を推進することで、目標達成を目指す。施策〇〇は、〇〇が要因で実績値が大きく下がってしまった。次年度の計画は、目標の数値を〇〇に変更し、施策の推進を図る。</p>

【評価の方法について】

- 施策の分野の数値の平均値を当該年度の計画の進行状況の評価とします。
(小数点第2位を四捨五入)
- 当該年度の評価の進行状況の評価をもとに、評価の説明を記載します。